

保健研究部

大阪市立幼稚園51園の養護教諭で構成している研究組織です。子どもたちの健やかな成長を願い、討議会や情報交換を通して資質向上に努めています

令和6・7年度 研究主題

生命(いのち)の安全教育を通して、自分の体に関心を持ち
大切にしようとする心を育む

★幼児の行動観察を実施しました★

幼稚園での幼児の実態を把握するとともに、課題を明らかにし、課題解決に向けた保健指導や保護者啓発に取り組みため、行動観察を実施しました。

調査時期：令和6年8月末～10月末

調査条件：幼児の生活全般の10分間を計5日間観察

調査対象：大阪市立幼稚園に在籍する園児

調査方法：養護教諭による行動観察

文部科学省「生命(いのち)の安全教育」指導の手引きを参考に、作成した行動観察シート(下部参照)を用いる。

行動観察シート

〇〇幼稚園

3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児
実施日：[] 5日間
場面：[] 屋内・屋外
調査者： 養護教諭 ・ 担任

自分 が 大 切	行動	言葉
	大 切 な 行 動	大 切 な 言 葉
相 手 が 大 切	行動	言葉
	大 切 な 行 動	大 切 な 言 葉

〈観察のポイント例〉

自分 が 大 切	行動	言葉
	大 切 な 行 動	大 切 な 言 葉
相 手 が 大 切	行動	言葉
	大 切 な 行 動	大 切 な 言 葉

行動観察の結果と考察・課題

作成したシートの観察のポイント例を参考に、各年齢ごとに幼児の言動を【自分に対して】【相手に対して】の視点で把握し、整理しました。

【3歳児】

結果

【自分に対して】

○大切にしている行動

- ・丁寧に手洗いをする
- ・進んで水分補給する
- ・体が汚れたことを教師に伝える

●気になる行動

- ・パンツを下ろした状態で、トイレのドアを開ける
- ・下着姿のまま歩き回る
- ・手洗いができていない
- ・何をしたいかわからず、ずっと立っている
- ・トイレに行きたくても、先生に声をかけられるまで何も言わず我慢する

○大切にしている言葉

- ・自分の気持ちを伝えることができる
- ・けがをしたときに先生に言える
- ・困ったときに自分で先生に言える
- ・遊びに入れてと言える

●気になる言葉

- ・自分の気持ちを言えない
- ・周りの意見を優先して、自分の気持ちを伝えることができない
- ・体調が悪いことを自分で言えない

【相手に対して】

○大切にしている行動

- ・友達を心配する
- ・友達を手伝う
- ・共有のものをきれいに整頓する

●気になる行動

- ・ぶつかっても謝らない
- ・片付けの邪魔をする
- ・相手の気持ちに関係なく、友達の顔や体を触る、くすぐる
- ・思い通りにならないと噛む
- ・友達が使っているおもちゃを勝手に使う、壊す

○大切にしている言葉

- ・一緒に遊ぼうと声をかける
- ・友達に「貸して」と言う
- ・友達に「ごめんね」が言える

●気になる言葉

- ・遊びに入ってほしくないときに「やめて」と何度も言う
- ・おもちゃを取られたときに叫ぶ

考察

行動面では、丁寧に手洗いをしたり、進んで水分補給をしたりするなど、基本的な生活習慣が身に付いてきている姿が見られた。気になる行動では、ズボンを履かずにトイレから出てくる、下着姿のまま歩き回るなどの行動が見られた。また、友達の使っているおもちゃを使いたいときに、「貸して」と言わずに勝手に使ったり、押しのけて使ったりしていることや、思い通りにならないときに叫んだり、噛んだりといった相手にけがをさせる行動が多かった。

言葉の面では、友達に対して優しく声をかける、「ごめんね」が言える一方で、自分の気持ちを言葉で伝えられず、先に手が出てしまう姿が多く見られた。

結果

3歳児の発達段階から、言葉で伝えるよりも先に手が出てしまう姿が見られるが、指導することで自分の気持ちを言葉で表現し伝えることの大切さを知り、相手の思いにも気付くようになると考える。

【4歳児】

結果

【自分に対して】

○大切にしている行動

- ・手が汚れたら自分から手を洗いに行く
- ・進んで水分補給する
- ・友達に見えないように着替える
- ・綺麗に服を畳むことができる
- ・困ったら先生を呼ぶ

●気になる行動

- ・ズボンで手を拭く
- ・手洗い場で水遊びを始める
- ・嫌なことをされても黙り返む

○大切にしている言葉

- ・何をして遊びたいのか、自分の気持ちを言える
- ・自ら助けを求めることができる
- ・「いれて」と言える

●気になる言葉

- ・教師から声をかけられるまで、困ったと、言えない
- ・「できない」とする前から言う
- ・友達に「代わって」と言えない

【相手に対して】

○大切にしている行動

- ・友達と協力して片付けをする
- ・「ごめんね」「いいよ」が言える
- ・転入園児を気遣いながら一緒に遊ぶ

●気になる行動

- ・友達のパンツを触る
- ・ふざけて抱きつく
- ・後ろから友達を押す
- ・「やめて」と言われてもやめない
- ・トイレのドアの隙間から覗き込む
- ・思い通りにいかず拗ねる

○大切にしている言葉

- ・友達を褒める声かけをする
- ・友達を応援する
- ・強い口調の友達に「それはだめだよ」と優しく伝える

●気になる言葉

- ・強い口調で注意する
- ・相手が嫌がることを言う
- ・友達に「嫌い」「やってこい」と言う
- ・言い方がきつくて、友達が泣いてしまう

考察

行動面では、友達と協力する、気にかけるなど、相手を思いやる行動をする幼児が多く見られた。その反面、友達の体や顔を触る、友達を後ろから押すといった相手の嫌がることをしたり、「やめて」と言われてもやめなかつたりするなどの行動も見られた。

言葉の面では、友達を思いやる気持ち表現することや友達を応援する言葉かけができる幼児がいる一方で、強い口調を使ったり、困ったと言えなかつたりする幼児の姿も見られた。

課題

自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さや、使う言葉によって友達が傷つくことを知らせ、友達の気持ちに気付けるような指導が必要であると考えます。



【5歳児】

結果

【自分に対して】

○大切にしている行動

- ・手洗いうがいを自発的に行う
- ・暑さ指数を気にして遊ぶ
- ・トイレのマナーを守る
- ・自分の体調のことを伝えることができる
- ・自分の遊びを見てほしくて友達に「見て」と声をかける

●気になる行動

- ・石けんで手を洗わない幼児がいる
- ・歯ブラシをくわえて歩く
- ・お尻を出して排尿する
- ・2人でトイレに入る
- ・着替えている途中で歩き回る

○大切にしている言葉

- ・教師に思いを伝えることができる
- ・友達に「入れて」と言える
- ・けがの状況を自分の言葉で言える

●気になる言葉

- ・自分の都合のいいように言う
- ・困っていても、助けを求めることができない

【相手に対して】

○大切にしている行動

- ・友達のために行動できる
- ・友達のけがを心配する
- ・遊びの途中で気持ちが折れてしまった幼児に手を差し伸べ、「一緒にやろう」と声をかける
- ・年少児を遊びに誘う
- ・当番で協力して、弁当のかごを運ぶ

●気になる行動

- ・陰部を相手に見せる
- ・トイレを覗く
- ・「やめて」と言われてもやめない
- ・友達同士で触り合う
- ・先生の腕や友達の顔にキスをする

○大切にしている言葉

- ・友達に優しく声をかける
- ・欠席している友達を気にかける
- ・けがをした友達に「大丈夫？」と声をかける

●気になる言葉

- ・友達を「お前」と呼ぶ
- ・場にそぐわない発言をする

考察

行動面では、3・4歳児と比べて、基本的な生活習慣は身に付いているが、慣れてきていい加減になってきている姿が見られた。相手に対しては、友達を心配したり、協力したりする気持ちがある一方で、相手が嫌がるような行動をしたり、「やめて」と言われてもやめなかったりと、3・4歳児と共通する姿が見られた。

言葉の面では、自分の思いを伝えることができたり、友達を気にかけて声かけをしたりするが、自分の都合のいいように言ったり、乱暴な言葉を使ったりするなど、気になる姿もあった。

課題

友達同士で触り合ったり、トイレを覗いたりする姿から、自分の体に関心をもち、大切にすることを知らせる指導が必要であると考えます。

年齢ごとに幼児の言動を【自分に対して】【相手に対して】の視点で実態を把握し、これらの課題解決に向けた実践に取り組んでいきます。